

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム なごみ
日付	平成18年10月5日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>概評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>職員の笑顔が多く見られ、グループホーム全体として明るく感じました。職員は入居者に寄り添い、よく話しかけていました。入居者も穏やかな表情で落ち着いた生活が出来ているようです。これは入居者も職員もほとんど入れ替わりがなかったことも一因でしょう。職員も入居者のことをよく理解していて、段取り運びが上手いと感じました。</p> <p>全体的に、加齢と共に体力は落ちてきています。また車イス生活の入居者も増えてきましたが、職員は閉じこもりにならないように言葉かけをして外に誘っています。畑でトウモロコシやトマトなどいろいろな野菜を作っていて、入居者はほとんど手伝うことはできませんが、収穫を見守ることで参加しています。建物の回りはきちんと掃除がなされていて、プランターにはいろいろな花が植えてあり、菜園や花園で季節感をかもし出し、とても居心地良さそうなホ-ムでした。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>ケア会議の記録を見ると、いつも同じ項目の記載しかありません。会議ではいろいろな意見が出ているようなので、記録の書き方・レイアウト・フレームワークなどを工夫してはいかがでしょうか？</p> <p>職員個々では問題意識を持って何をすればよいのか考えているようですが、全体としてのアクション不足のように感じました。いろいろな場で職員同士の意見を出し合い、皆で協力して一歩を踏み出せば、新しい風が施設の園に吹いてくるのではないのでしょうか？</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 「共になごやかに、心から歩み寄り。」をモットーに、いつも笑顔が出るグループホームを目指しています。特に、3つのことを考えています。 ・プライドを傷つけないように言葉遣いに気をつける。 ・頭ごなしに怒らない。 ・人格に気を使う。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 職員が入居者の話を聞いてあげると落ち着くようです。落ち着きのない入居者には職員が個別に話を聞いています。落かにつけ文句を言う入居者がいますが、職員は丁寧に対応しています。毎回のことでありますが良く話を聞いてあげています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物への支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 個々の人生観を尊重して、また体力的に出来ることに取り組んでもらい、ストレスを貯めない生活をしてもらっています。歩くことが精一杯になってきた入居者にも、昔を思い出してもらうために収穫だけでもと、職員はがんばって畑の手入れをしています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	昨年は調理をする職員が仕事に没頭し、入居者の様子を見ていないことが多少見受けられましたが、スタッフの人数を増やすことで、調理中も入居者の傍に居る職員が見守りやすくなりました。 職員同士の交流の時間を増やし、入居者の介護方法などの話をしてもらい、問題点の解決の糸口を見付けて入居者が穏やかに過ごせるように努力しています。		